

ふう けい き こう  
**風景紀行**  
 こ しき が ばら  
**五色ヶ原**  
 25  
 飛騨森林管理署  
 (各署の景勝地等を紹介)

妖精に会いに…  
**高山市丹生川町**

「自然に負担をかけないように自然を楽しむ」、自然環境と保全のバランスを保つため認定ガイドの同行を義務づけ、予約制で入山人数を制限する五色ヶ原は乗鞍岳の北西中腹の標高一三三〇〇〜一六〇〇メートルの民有地、国公有地あわせた約三〇〇〇ヘクタールの森林地帯に広がる。

ほとんど人の手が入らず自然純度が高い中間山地地帯の自然景観が楽しめる貴重な場所として平成十三年度から旧丹生川村がこのエリアの調査を行い、できるだけ環境にダメージを与えないよう自然歩道や施設を整備し一般公開した。

山地帯から亜高山帯にブナ、ミズナラ、サワグルミなどの広葉樹林やシラビソ、オオシラビソ、コマツガなどの針葉樹林が濃密に肩を寄せ合い根を下ろしている。この豊かな森林には数多くの野生動物も棲んでおり、足跡や鳴き声マーキングなどを通じて訪問者を楽しませてく

れる。また、レッドデータブックに載る希少な山野草や野生生物も数多く確認されており、その自然の懐の深さにはただただ感服する。

豊かな森を縫うように滑り落ちる溪流には豊富な水があふれ、切り立った溶岩台地からは数々の瀑布の轟音が響き、深い森の奥には静寂の中に青空を映し出す池が輝き、日々刻々と表情を変える木々の葉は秘境と呼ぶにふさわしい五色ヶ原をさらに魅力のあるものへと演出してくれる。

この秘境を満喫するには遊歩道を利用して散策するのが一番、遊歩道の散策コースは滝と溪流を巡るカモシカコースと苔むした溪流と点在する池を巡るシラビソコースのふたつ、それぞれ動と静対照的なこのコースは五色ヶ原の自然や地形を熟知した認定ガイドが同行し、自然の生いたちや成り立ち、葉っぱの一枚から虫の一匹まで優しく楽しく案内してもらえる。

入山規制や完全予約制を含めたこのシステムは今後の自然環境の保持保全に対する一つの方向性を示すものと全国から注目される一方、平成十八年十二月一日に中部局との間で提携された「のりくら郷土の森」の一部としてますますその存在価値が高くなった。

◆アクセス

中部縦貫自動車道高山西ICから国道一五八号線を松本方面へ五〇分  
 松本自動車道松本ICから国道一五八号線を高山方面へ九〇分



八本原高原から望む乗鞍岳、右下山麓が五色ヶ原



シラビソコースの布引滝



静かに風景を映す雄池

◆予約・問い合わせ  
 五色ヶ原案内センター  
<http://www.hida.jp/goshiki/index.shtml>  
 高山市丹生川支所 産業振興課  
 (平日8:30~17:00)  
 TEL 0577-78-1111  
 FAX 0577-78-2011